

# まち協だより

平成21年3月15日(日)

No.3

発行 菩提寺まちづくり協議会 事務局 菩提寺公民館内 Tel:0748-74-3471

発行責任者 事務局長 粟津寛三

## 学区親善ソフトボール大会を顧みて

実行委員長 三上 伸征

昨年11月9日(日)菩提寺多目的広場と菩提寺小学校グラウンドにおいて、第20回菩提寺学区親善ソフトボール大会が開催されました。

曇りがちの中、菩提寺学区7区から元気はつらつとした11チームの参加があり、肌寒さを吹っ飛ばす白熱した好試合の連続で無事けが人もなく盛大に終わることができました。

この大会は7区の唯一の合同行事で参加資格も中学生以上の年齢別の男女で、チームも10人制でルールも緩やかです。すべての学区の人が参加しやすいようになっています。

この様に7区が一つとなり、親睦と人づくりを目的とした大

会も、早や20年の伝統ある行事に育ちました。第19回までは学区区長会のもとで開催しましたが今回より菩提寺まちづくり協議会のもとで開催されました。

この事は大変意義深いことです。

この大会がこれからもますますまちづくり協議会の理想の目的のもとで盛大に開催されることを願っています。



## 各委員会からの報告

### 人づくり委員会

今年度の主な事業活動は、地域と学校との連携を重点的に活動してきました。

学校と地域とのかかわりとなると、学校ボランティアすなわち教育の補助、環境整備、子供達と共に活動するチャレンジクラブ等がありますが、その内の環境整備を重要と考え明るい楽しい雰囲気作りに挑戦してきました。楽しい環境作りとしてペーパークラフトの展示(9,10,11,12月)憩いの環境作りとして菩提寺小学校の中庭にベンチを4脚作成しました。休み時間にはベンチで楽しくくつろいでくれています。

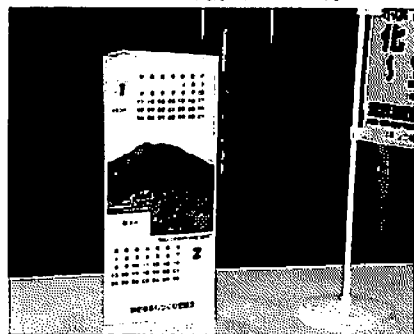
そして今年の春卒業される6

## 三角カレンダーの配布

菩提寺という言葉は「先祖代々を祀るお寺」の意味である。湖南省の北西部に位置し、古くから数多くのお寺があったことから、この地域そのものが菩提寺と呼ばれるようになったと容易に推測できます。

このすばらしい歴史のある菩

市役所の受付に置かれた三角カレンダー

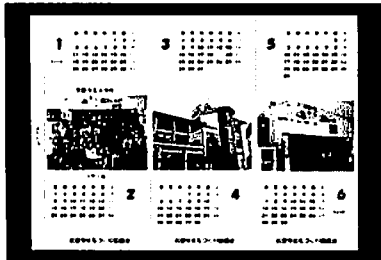


提寺の旧跡(龍王山、廃少菩提寺地蔵尊像、廃少菩提寺閻魔像、

廃少菩提寺石造多宝塔、菩提寺禅寺、西応寺)を載せた2009年の三角カレンダーを作ってみました。菩提寺の旧跡を知っていただくことと、菩提寺まちづくり協議会を知っていただくことを目的で作成いたしました。

主な配布先は湖南省役所東庁舎、西庁舎、公民館、銀行、病院等に届けました。

年生に対して、各クラスの思い出を入れた三角カレンダーを全員に贈りました。(写真参照)



また地域住民の交流のために2008年11月9日(日)菩提寺学区親善ソフトボール大会が開催され、11チームの熱い戦いの結果、近江台チームが優勝しました。来年度の大会には豚汁の炊き出しで身体を温めていただき、楽しい大会にしたいと思います。

## 安全環境委員会

今年度の活動総括について報告させていただきます。

今年度は防犯という観点から以下の事業を実施しました。

### 1. 2008.8.24 岩根学区総合防災訓練見学会実施

岩根まちづくり協議会主催による、防災航空隊(ヘリコプター)、湖南中央消防署、消防団、市、生田病院、各自治会を巻き込んでの大規模な総合防災訓練を見学しました。

### 2. 2008.11.15-16 菩提寺公民館祭り展示実施

菩提寺公民館祭りに各委員が自宅に準備している防災グッズを展示し、乾パンと非常食を配布しました。延べ300名の方に来場いただきました。

### 3. 2009.2.22 菩提寺7区合同防災講演会(講師:東田せつこ氏)

東田せつこ氏(阪神淡路大震災語り部ボランティア)による講演会を実施しました。

# まち協 公民館まつり に参加

11月15日(土)、16日(日)

あいにくの天候になってしまった今回の菩提寺公民館まつり、人出を心配しましたが子どもたちの作品展や、サークルの展示、芸能発表を熱心に見に来られる方や、



来年度も防災防犯を主眼においた活動に取り組んでいく予定です。

## 文化芸術委員会

当委員会は「個性と魅力が輝く」まちづくりを目的として、

1. 菩提寺地域の魅力を育て発信する
2. 地域文化財の保全とPRを行う
3. 文化・芸術活動を振興し、地域間の交流を深める

この大きな目標に沿った活動

バザー、模擬店を楽しみに訪れる方で、盛況であり、雨もふっ飛ばす勢いでした。

まち協としては、会館内のまち協サロンでの安全防災グッズの展示、各自治会の「きらり光もの紹介」、ペーパークラフトの展示などを行い、外ではペーパークラフトの紙飛行機の組み立てを子どもたちに教えてプレゼントし、とても好評でした。

の一端として、昨年11月の公民館まつりにまちづくり協議会として初参加させて頂き、天平時代から続くと言われる菩提寺地区の歴史を中心とした展示を行い、特に近年の展示資料には幼い頃の思い出に懐かしんでおられる方も多々見受けられ、逆にいくつもの情報を頂きました。

来期は今期に準備を進めています。来年度も防災防犯を主眼においた活動に取り組んでいく予定です。

より多くの地域住民が案内マップを片手に隣近所にある史跡と触れ合い、整備・保全などの活動を通して人の交流から地域間の交流へ輪を広げ、そこから生まれる新しい菩提寺を発信していきたいと考えていますのでご賛同いただける方々の参加をお待ちしています。

## 暮らし支えあい委員会

暮らし支えあい委員会は会員の皆様のご理解とご協力を頂き「住んでいる人が主役・いつまでも住み続けたいまち」の実現を進めております。

今年度の活動をご報告します。

1、コミュニティバス・滋賀交通野洲路線のアンケート調査を行いました。

(1) アンケートのご協力、有難う御座いました。集計次第ご報告致します。

(2) アンケートを参考に来年度はより利用し易くなる様、関係箇所と話し合いを行います。

2、何か地域活動を希望される方や、皆様がお持ちの経験・知識・技術等を必要とされる方にご紹介出来る仕組みを作り、生き甲斐作りや健康作りで

“生き生きとしたまち”の実現を目指します。(コーディネートをする)

(1) 本年度は調査・情報収集を行いました。

(2) 来年度はチョット参加してみよう！チョット覗いてみよう！と気軽にご利用頂ける場所を作りたいと思っております。

3、高齢者が主役のまちづくり先進地の研修。

(1) 高齢者が生き生きと活躍し子供達が未来に夢を持ち共に生きる住み良い地域社会作りを目指します。

来年度も皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

■地域活性化委員会の「生ゴミのリサイクル」等については、次号に掲載します。

## シンボルマークの審査結果報告

まちづくり協議会のシンボルマークについて、2回にわたって募集した結果、応募者6名、9点の作品が寄せられました。

応募して下さいました方々に、厚くお礼申し上げます。

経営会議で審査の結果、下記のように決定しました。

最優秀賞 該当者無し

優秀賞 北山台 佐々木健司様  
(商品券 5千円分)

特別賞 北山台 田中祥真君  
(商品券 5千円分)

尚、まちづくり協議会のシンボルマークについては、今後も募集を続けることとなりました。どうか、皆様のご協力をお願いします。

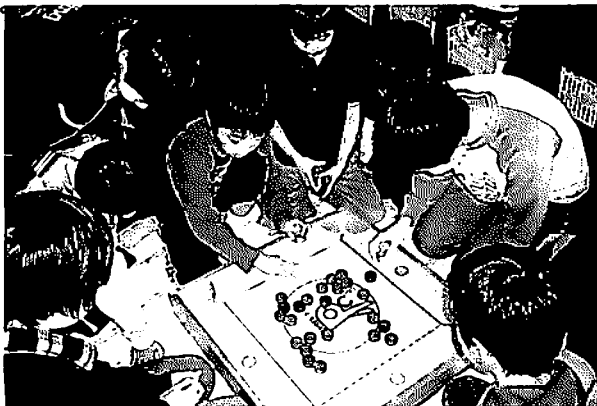
## 地域で活躍するグループ

# わんぱくクラブ

(菩提寺北学童保育所わんぱくクラブ)

わんぱくクラブは1年生から6年生まで33人の子どもたちがステキなログハウスの建物の中でワイワイと過ごしています。共働きや一人親家庭の小学生が放課後や長期休みの生活を共にし、学童保育を通して子ども・保護者・指導員が育ちあう場です

今年卒所を迎える子どもをもつ保護者の声をお届けしたいと思います。



「うちの子が3年生になった時に私が働き始め、安全のために学童保育に預けることにしました。学童保育のように異学年の子と生活を共有する場というのは意外にないもので、1年生から6年生までの子が同じように生活したり、キャンプなどの行事に参加したりする中でうちの子も楽しく過ごしているようでした。高学年になると学校で大人しい存在のうちの子でもリーダー的存在にならざるを得ないようで、自分が楽しいだけでなくみんなが楽しんでいるか気にかけるとか、低学年の子の面倒を見るとか、普段ではなかなかできないことに気をつけてするようになりました。例えばケンカをしている子の仲裁に入るとか、学校ではなかなか考えられない姿を見せてくれると、学童保育という特別な場があるおかげだと嬉しく思うのです。もうすぐ卒業ですが、うちの子にとってかけがえのない居場所だったなと振り返って感じており、感謝の気持ちでいっぱいです」

(わんぱくクラブ サイドタウン2丁目4-31 Tel:74-3219)

# 「菩提寺はいつ、 どうして生まれたか」

菩提禅寺 住職 安部正毅師

天平年間（730年頃・聖武天皇期、742年に紫香楽宮を開く）に奈良興福寺（南都6宗の「法相宗大本山」）の別院として36もの僧坊（寺院のことを言う）をこの土地に建立した。

これらの中心が「円満山大般若台院」と号し、良弁僧正の開基と伝えられる。現在の菩提禅寺、西応寺、正念寺、和田神社、斎神社、などは、かつての僧坊である（ただしお寺の宗派は中世に変わっている。）

それらの寺院群を「少菩提寺」と称し、栗東市の金勝寺を「大菩提寺」と称したのに対してそのように呼ばれた。

元亀元年（1570年）兵火に会い焼亡してその後は廃寺となってしまった。

現在は、閻魔石像（延長2年〈924年〉）、多宝塔（仁治2年〈1241年〉）、地藏菩薩像三体（中尊鎌倉時代初期、両脇尊南北朝時代）等が残っているので当時の文化を現在見ることが出来る。

現在の「菩提寺」の地名は「円満山大般若台院少菩提寺」にちなんで戦国時代の郷村名（江戸時代より明治22年まで）の村名であった。

それ以降は大字名（昭和30年までは岩根村の大字名）であって現在に到っている。

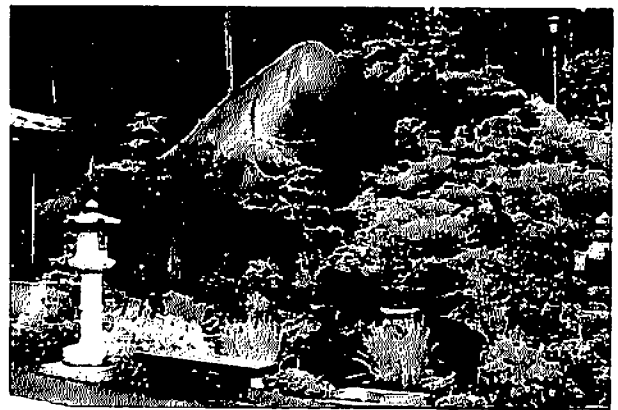
開基良弁僧正は、一説に持統天皇3年（689

年）相模国（神奈川県）の漆部氏の子として生まれ、義淵僧正に法相学を学んだというが「元亨釈書」には近江百濟氏の出身で、幼児の時、鷲にさらわれたと言う説話のなかで東大寺二月堂下の大木（良弁杉）の枝に置かれたという伝説もある。菩提寺にも現在の西応寺にある大岩の上で座禅をして仏法の奥義を追求されたという説話があり、この岩を「禅定安居岩」と名づけられたという民話も残っている。



東大寺初代の別当 良弁僧正座像

西応寺境内 禅定安居石



## 編集後記

まちづくり協議会が設立されてから、早10ヶ月が経ち、各委員会の活動もぼちぼち軌道に乗り始めました。

這い這いからやつと掴まり立ちが出来るようになった状態かも知れませんが、菩提寺という色々と恵まれた環境の中で、その地の利を最大限活かしながらしっかりと歩み出しました。その歩みは地域の身近かな課題の取り組みから始まり、やがては地球規模の課題解決のヒントに繋がる歩みになるかも知れません。そして何よりも、スローながらも着実な地域独自のものであつて欲しい。

「まち協だより」も僅か第3号の発行です。そのような中で、我々広報委員は何をどのようにしたら良いのだろうかかと悩んでいます。これから一人歩きになる段階の様々なまちづくりの協働作業の様子を、可能な限り在りのままに生々しく伝える為には、

情報発信の方法として、「まち協だより」に加えてインターネットもたいへん有効な手段です。初め、ホームページの立ち上げが話題に挙がりましたが、先ずは、この頃すっかり身近になったブログ方式を試みることにになりました。3月中にはアップロード（upload: sakurane）して、多くの方の声をお聞かせ願いたいと思っています。

尚、ホームページは引き続き検討します。

（広報 K・Y・・・何となく嫌なインシヤル）